

文 教厚生委員会



期 日：7月18日～20日
 視察研修先：兵庫県赤穂市、広島県三次市
 視察研修内容：赤穂市民病院の運営について（赤穂市）
 教育特区制度による少人数・少人数指導の取り組みについて（三次市）

赤穂市民病院は、自治体が運営している公立病院で唯一黒字経営の総合病院であり、病院の運営状況などについて研修をしてきました。

赤穂市民病院の診療科目は、18年1月に形成外科が開設され、現在18科があり、病床は380床、医師44名で、一日平均の患者数は1628名（17年度）となっています。

医師は、大学病院から派遣されており、他の病院と同じく何年かすると大学に戻ってしまい、医師の確保に苦労しているようです。

同病院は「よい医療を、効率的に、地域住民とともに」の基本理念の基に、ボランティアを受け入れるなど市民との交流を深められているなどの病院経営などについて説明がありました。

三次市においては、教育特区制度による少人数・少人数指導の取り組みについて研修をしてきました。

少人数学級を編成して個に応じたきめ細かな指導を行うため、平成15年5月に構造改革特別区域経計画（特区）の認定を受け、事業に取り組みられてきた「のびのび学級みよしプラン」についての事業内容などについて説明がありました。

総 務委員会



期 日：8月7～9日
 視察研修先：新潟県長岡市、秋田県大仙市
 視察研修内容：合併の経過と今後の考え方について

長岡市は、平成17年4月の第1次合併、さらに翌18年1月の第2次合併を経て、人口28万3千人の新「長岡市」として誕生。大仙市は17年3月に人口9万5千人の市として誕生した自治体です。

新「笠間市」が誕生して半年が経過しようとしているなかで、2市における状況を研修してきました。これまでの経過や今後の考え方などについて説明

を受けた後、予定時間を超えてしまうほど活発に意見交換し、議論を深め、それぞれ合併して誕生した新市の今後のあり方について、双方がその考えや認識を深めました。

議会運営委員会



期 日：10月11～12日
 視察研修地：栃木県矢板市議会
 視察研修内容：市町村合併等に関連した事項

姉妹都市として交流のある矢板市を訪れ、市町村合併に関し、両市の経緯や現状を話し合い、旧笠間市との姉妹都市を結んだ時の記念碑を見学しました。また、議会運営のあり方等の意見を交換しました。